2025年　プログラム近況報告
フィリピン　サマール地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



サマール地域の子どもたちへの温かいご支援に、心より感謝いたします。皆さまのご支援により、最も弱い立場にある子どもたちが健やかに成長し、自分を表現しながら、大きな夢を持つことができるようになりました。

マリア・ジェーン・アセベス
サマール
地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

1,485

最も弱い立場に置かれている子どもたち1,485 人に、学用品、通学かばん、制服、車いすなどを支援しました。困難な状況にある子どもたちが学校に通い、より良い未来を築けるように支えています。

753

子どもへの暴力をなくすために、753人の子どもたちが、自分たちにとって有害な行いや慣習（体罰、家庭内暴力、児童婚など）に反対し、声を上げるなどの行動を起こしました。

フィリピン　：　日本

出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行　2022年 世界保健機関（WHO）　2024年

深刻な栄養不良の5歳未満児の割合		安全な水にアクセスできる割合		1人当たりの国民総所得（GNI）	
28.8%	5%	48%	99%	$8,920	$42,274

チャイルド・スポンサーシップは、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行います。地域の状況に応じて水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善に取り組んでいます。



「ぼくは、友達を尊敬することや、努力の大切さを学びました。今では、学校にきちんと通い、規則も守っています。家では手伝いをして、両親を尊敬しています」
ザックくん、12歳（立っている男の子）

大きな変化がもたらされています

58

58の貯蓄グループが活動しました。メンバー同士が支え合いながらお金を貯め、利子を得て、貸し付けを利用しています。家計の安定が、子どもたちのより良い生活につながります。

1,003

1,003人の子どもが、周囲の人への思いやりや、価値観の尊重などを学ぶ啓発活動に参加しました。自分が大切な存在であることを理解し、良好な人間関係を築くために必要なことなどを学びました。

2009 開始

2025

準備期	第1期	第2期	第3期	支援卒業準備期
地域との関係構築やニーズ調査、計画策定をします	土台やしくみを作ります	知識・技術を身につける活動をします	評価・見直しをしつつ活動を進めます	支援の終了を意識し、活動が持続できるよう整えていきます

2028 終了予定

支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「学費を払えるようになりました」



「私の家族は、生活していくのに十分な収入がありませんでした」と、14歳のエンジェルちゃん（右）は言います。「食べ物がなくてお腹を空かせて学校に行くこともあったし、必要な道具を買えなくて、課題の提出が遅れることもありました。妹は2年間も教育を受けられませんでした」

そんな生活は、エンジェルちゃんの母親がワールド・ビジョンの職業訓練に参加したことをきっかけに変わり始めます。母親は縫製の技術や野菜の栽培・販売の方法を学び、ミシンの支援も受けることができました。

現在、エンジェルちゃんの母親の仕事はとてもうまくいっています。「今は、新しい制服が着られるようになったし、私たちの学費を払うことができています」と笑顔で話すエンジェルちゃん。「お母さんは私たちの将来のために貯金も始めてくれました」



チャイルドの最新情報や写真・動画を見られる
「マイ チャイルド」および
登録情報の変更など、各種お手続きができる
「マイ ワールド・ビジョン」はこちらから

World Vision

ご支援により、子どもたちを取り巻く環境が改善されています

フィリピン　サマール地域開発プログラム（PHL-194416）

2024年度（2023年10月1日～2024年9月30日）

会計報告

プログラム支援額	（単位：円）
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	46,882,012
前期からの繰越額	143,620
プログラム支援額合計	47,025,632

プログラム支出額	
教育プロジェクト	28,005,277
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	18,698,064
プログラム支出額合計	46,703,341
次期繰越額	322,291

活動内容

教育プロジェクト

- 就学に関する保護者への啓発・研修
- 学習教材の普及
- 地域の貯蓄グループ運営
- 生計向上の支援

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ライフ・スキル教育の実施、子どもの保護体制の強化に向けた地域関係者との連携

*ライフ・スキルとは、問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術のこと。



お問い合わせ
特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL：03-5334-5351
Eメール：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp